

広報ほんべつ

本割

いいひと いいまち いきいきほんべつ

HONBETSU

2018

March
No.1073

3月

表紙

ほんべつ豆まかナイト2018
激！豆まぎ！の鬼の登場に
会場は熱気に包まれる



Pick up

- ✿元職員の不祥事について町民報告会を開催しました
- ✿4月1日から町公共施設の使用料が変わります
- ✿ほんべつ豆まかナイト2018が開催されました

お知らせ

4月1日から 町公共施設の使用料が 変わります

本町の公共施設使用料について、平成30年4月1日より改定することとなりましたのでお知らせいたします。

改定内容については、①受益者負担の原則、②算定方法の見直し、③減免区分の見直し、の3つの観点から、本別町行政改革推進委員会と、本別町使用料等審議会で議論を重ね、平成30年1月の臨時議会において議決されました。

なお、改定後の使用料や減免区分については、町広報紙で一部掲載いたしますが、詳細については各施設に掲示する他、町ホームページでご確認ください。

今後も町公共施設を生活の中に役立てていただくとともに、使用料の受益者負担についてのご理解をお願いいたします。

使用料等審議会

(高木幸夫会長、12人)



平成30年1月19日に開かれた会議では、町から提案された施設ごとに算定した使用料と減免基準などについて、町民目線で慎重に議論しました。

行政改革推進委員会

(今野公司会長、12人)



平成29年12月15日に開催された会議のなかで、出席した委員らは、今後の行財政運営を踏まえ使用料改定の方向性を議論しました。

元職員の不祥事について町民報告会を開催しました

元職員が在職中に犯した不法行為（地方税法違反・加重収賄・業務上横領）や公判内容等についての町民報告会を2月7日、町体育館で開催しました。



冒頭、高橋正夫本別町長が、「元職員が在職中にこのような不祥事を起こし、本別の歴史に大変な汚点を残したことに町民の皆さんに心からお詫びを申し上げます。また結審されていませぬが、このようなことが二度と起きないよう全力で信頼回復に努めたい」と陳謝しました。続いて、大和田取副町長が元職員の不祥事について、一連の議会対応や本別町職員の公務員倫理に関する条例の制定など、町の具体的な取り組みについて述べ、また、昨年12月に釧路地方裁判所帯広支部において、懲役3年6月、追徴金650万円の実刑判決が言い渡された罪状、公判の経過などを報告。元職員は控訴中であり、刑は未確定であります。町の損害金については、元職員に対し賠償請求に向けた法的手続きの開始と、退職金の返納を求める手続きを進めているところです。

と元職員の関係、今後の裁判の行方など日人から質問や意見などが述べられました。高橋町長は、「本別町の歴史に傷が付くこと、私の在職中にそのような行為が及んでいたことに、責任は十分に痛感しています。弁明の余地はありません。不適切な事務処理について職員で調査したが見つけられず、道警の捜査に全面的に協力をしていくなかで、いろいろなことが発覚してきました。今後にも全容解明に向けて積極的に対応し、このようにことを絶対に起こしてはイケないと改めて強く思っています」と述べました。

お詫び

広報ほんべつ2018年2月号（No.1072）16ページの記事の中で、第1回公判の日付に誤りがありました。次の通り訂正し、お詫びいたします。

（誤）平成29年7月29日
（正）平成29年7月10日



見直しの背景

本町では、さまざまな公共施設において、福祉、文化、体育活動が行われており、多くの町民の皆さんに利用されています。それらの施設の使用料は平成17年度の改定時に施設ごとの維持管理費の50%を受益者負担分として設定され、その後、子供たちの使用については無料とするなど一部見直しは行っていますが、基本となる単価は10年以上据え置けてきました。

このため、次の3点を踏まえた使用料の見直しを行うこととなりました。

社会経済状況の変化

維持管理費の50%を受益者負担で賄おうとする当初の目的は、検証の結果、25%（減免前）にとどまっています。要因としては、人口減少や少子高齢化等が進み、地域の経済活動、規模も縮小してきており、年々、公共施設利用者数が減少してきているためです。現実的な維持管理費に対する適切な負担のあり方を検討すると同時に、今後、必要な対応策を講じなければ、利用者増加に転じることが難しい状況にあります。

町民活動推進のための負担軽減

近年、文化団体、スポーツ団体、各種サークル活動団体等においても、公共施設使用料負担を原因とする活動の停滞と併せ、人口減少によって担い手の不足や指導者の不足が問題視されていたことから、利用料負担のあり方を検討する必要があります。

軽減により、公共施設利用を促進し、活動の活性化が次世代を含む地域におけるコミュニティの醸成につながることを、このことが、福祉と健康の増進、ひいては、将来にわたって元気な地域をつくり、安全・安心な暮らしを確保するものであります。

利用する人と利用しない人の負担の均衡

一定の利用者負担は必要との観点に立ち、その適正な負担範囲について改めて検討するもので、道路、上下水道、公園、学校、病院等と同様、町民皆さんの財産でもあり、社会資本でもある公共施設の設置の所期の目的と照らし合わせ、いつても、誰でもが利用できる身近な施設として生活・文化の向上に役立てていただけるよう、負担の均衡を図る必要があります。

課題解決のための具体的な作業

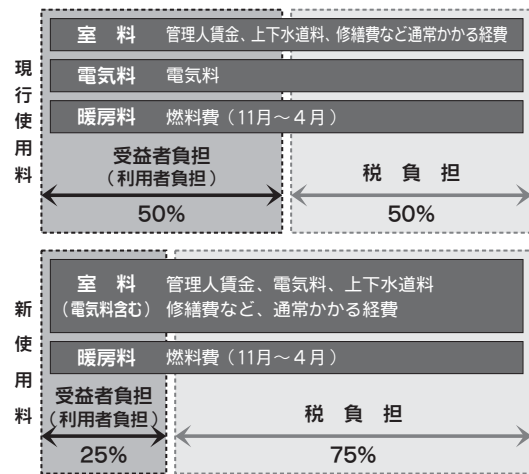
見直しにあたっての基本的な考え方

- ① 受益者負担の原則
- ② 算定方法の見直し
- ③ 減免区分の見直し

① 受益者負担の原則

現行の使用料は、施設維持管理費の50%を受益者負担（施設を利用する人の負担）とする原則に基づいて設定されています。しかし、使用料収入の現状は減免適用前で、施設維持管理費の約25%にとどまっています。

この現状を踏まえ、また施設利用者の負担軽減のため、改定後の使用料は、受益者負担の割合を25%に見直し設定しました。



② 算定方法の見直し

これまでは、施設ごとの維持管理費用に対し、使用料を算定していましたが、改定後は、施設を利用用途別に整理し、その種類ごと使用料を算定しました。

【現行使用料】

施設ごとの維持費の50%を目指した算定

【新使用料】

施設の種類ごと（町内すべて）の維持費の25%になるよう算定

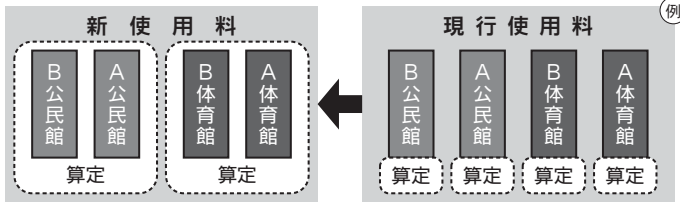
【施設の種類】

会議室（コミュニティ施設、屋内体育施設、野外体育施設、農産物ものづくり館（ゲキキッチン）、集会場

【その他の変更点】

1. 電気料は使用料に算入
2. 面積により階層を定めて料金設定
3. 施設の新旧や設置場所などは反映しない

同じ目的、同じ広さ（階層別）であれば同一の使用料



③ 減免基準の見直し

使用料の減免基準は、受益者負担の原則の特例として、行政の推進と団体の活動支援のために定めています。今回の見直しは、複雑になっている基準の簡素化と、不公平感の是正を目的に、現行の8区分から4区分に変更しました。

次に、単位自治会と単位老人クラブ（連合会加盟）は、区分見直しの例外として、親団体に準じました。また、団体区分によらず、介護予防拠点施設を、在宅福祉ネットワーク活動、老人クラブ活動、世代間交流などに使用する場合や、公益性の高い事業を実施する目的等で使用する場合など、新たに全部免除となる項目を追加しました。

なお、義経の里ロジック（御所）およびキャンプ村バンガローに関し、特に公益上必要と認められた場合は、一部または全部免除となります。

○ 改定後の減免区分表（簡略版）

※詳細については各施設に掲示する他、町ホームページでご確認ください。

団体区分	該当する団体例	施設区分	社会教育施設		福祉関連施設	コミュニティセンター	地域集会場等
			各公民館	各体育施設	生活館、児童館など	コミセン、ゲキキッチンなど	地区集会場、農作業準備施設など
1	・国、道、町の機関 ・自治会連合会、単位自治会 ・文化協会、体育協会 ・連合PTA、単位PTA など	使用料	免除	免除	免除	免除	免除
		暖房料	免除	免除	免除	免除	免除
2	・交通安全協会 ・日赤奉仕団 ・老人クラブ連合会、および加盟老人クラブ など	使用料	免除	免除	免除	免除	免除
		暖房料	免除	—	免除	—	免除
3	・文化協会加盟団体 ・体育協会加盟団体 ・自助団体（母子寡婦会、市街地婦人会など） ・産業振興団体（JA、商工会など） など	使用料	5割免除	5割免除	5割免除	5割免除	—
		暖房料	—	—	—	—	—
4	各種サークル、同好会など 継続性のある団体、グループ	使用料	3割免除	3割免除	3割免除	3割免除	—
		暖房料	—	—	—	—	—



太陽の丘パークゴルフ場

その他の見直し

◆太陽の丘パークゴルフ場の無料化
太陽の丘パークゴルフ場は、開設当時の近隣市町村と均衡を図った料金設定でしたが、利用促進とコストダウンの観点から、団体が専用して行う大会などを除き無料化します。

◆外税方式の導入
今後想定される消費税率の改定に柔軟に対応するため、これまでの内税方式から外税方式に変更します。

今後の施設運営

今回の使用料改定により、現状の利用実態で推移すると、施設使用料の総額はおおむね減収となる見込みです。今後も厳しい財政状況が続くことが予想されることから、施設の運営に際しては、管理の方法等について、なお一層の工夫が必要となつてきます。しかし、公共施設は、本来の設置目的から、皆さんに利用してもらうことに価値があり、負担軽減によって利用者数や利用回数が増加すると、減収が抑えられる可能性があると考えています。

今後皆さんの利用しやすい公共施設運営を目指してまいりますので、ご理解・ご協力をお願いいたします。



詳しくは
企画振興課
行政改革担当
☎22-8121

みんなの公共施設
みんなで活用しましょう！

使用料と暖房料の新旧比較表（一部施設抜粋、一般町民の場合）

使用料と暖房料については、消費税込みの金額を記載しています。新使用料には電気料が含まれます。町外者や営利目的での利用には、これまで通りの割増率となります。その他詳細については各施設に掲示する他、町ホームページでご確認ください。

○団体利用（1時間当たり）

施設名	室名	使用料			暖房料（11月～4月に加算）		
		現行料金	新料金	比較	現行料金	新料金	比較
中央公民館	実習室	350円	200円	▲150円	100円	100円	0円
	視聴覚室	450円	400円	▲50円	150円	150円	0円
	研修室	200円	100円	▲100円	50円	50円	0円
	第1和室	150円	100円	▲50円	50円	50円	0円
	大ホール	1,600円	1,200円	▲400円	450円	300円	▲150円
老人福祉センター	集会室	450円	400円	▲50円	300円	150円	▲150円
	陶芸作業室	250円	150円	▲100円	50円	100円	50円
本別コミセン (道の駅ステラ★ほんべつ)	多目的ホール	1,200円	500円	▲700円	200円	150円	▲50円
商工活性化センター (アースホール)	多目的ホール	500円	400円	▲100円	50円	150円	100円
	交流スペース	200円	100円	▲100円	50円	50円	0円
	会議室	150円	100円	▲50円	50円	50円	0円
ゲンキッチン	農産加工室	1,300円	1,300円	0円	200円	400円	200円
町体育館	大競技室	1,300円	500円	▲800円	750円	300円	▲450円
ふれあい多目的アリーナ		2,050円	1,000円	▲1,050円	900円	700円	▲200円
弥生・南・太陽の丘野球場		700円	700円	0円	—	—	—
太陽の丘野球場 本部棟		300円	300円	0円	—	—	—
河川運動公園芝生広場		500円	700円	200円	—	—	—
河川運動公園多目的広場		500円	800円	300円	—	—	—

○個人利用（1回当たり）

施設名	室名	使用料			暖房料（11月～4月に加算）		
		現行料金	新料金	比較	現行料金	新料金	比較
町体育館	大競技室	200円	100円	▲100円	100円	100円	0円
体力増進センター		100円	100円	0円	100円	100円	0円
ふれあい多目的アリーナ		200円	100円	▲100円	100円	100円	0円
町民水泳プール（1人1回） （シーズン券）		200円	100円	▲100円	—	—	—
		4,000円	2,000円	▲2,000円	—	—	—
太陽の丘P.G.場		200円	0円※	▲200円	—	—	—

※団体が専用する大会などは、現行通り200円

鎌田明空 笠原麟空 葛原崇空 貝西未空 岡瀬未空 越崎和未 井上未 石川未 池田未 龍乃介

明空 崇空 未空 和未 来未 咲月 琴望

鈴首木孝佑 佐藤陽生 佐藤ひなの 佐藤葉明 齊藤茉祐 齊藤唯 菊池彩月 川口綾心 上出愛子

平手莉央 平田菜摘 花見紗耶 畑山良 中島龍 對馬士 對馬龍 田馬夏光 高口夏光 高橋壯光 鈴木徠斗 前田珠里

本別中央小学校 (30人)

町教育委員会では、今年4月に小学校へ入学する児童の名簿を作成し1月末に保護者宛に就学通知書を送付しています。今年の新1年生は、平成23年4月2日から平成24年4月1日までで生まれた児童で、本別中央小学校30人、勇足小学校7人、仙美里小学校6人の合わせて43人です。該当する人で名簿から漏れていたり、就学通知書が届いていない人がいましたら、早めに教育委員会管理課学校教育担当(☎22212331)にご連絡ください。※個人情報保護により保護者から了解を得た対象児童のみ掲載しています。



平成23年度 本別中央小学校入学式



福良理乃 高橋萌々子 佐木優介 齊藤翔琉 桐山果 安部愛莉

仙美里小学校 (6人)

吉田祥 森住凌 堀越稀 林美伶 武市美句 今野大句 岡林泰雅

勇足小学校 (7人)

(2月21日現在)

平成30年度から 国民健康保険制度が変わります

その3

平成30年度から実施される制度改正の内容について、これまで広報紙および住民説明会においてお伝えをしてきました。3回目の今回は、2月2日に確定した、本別町が北海道へ納める国保事業費納付金についてお知らせいたします。なお、この国保事業費納付金を基に、本別町の国民健康保険税率を改定する予定です。

平成30年度 国保事業費納付金が確定!

- ▽国保事業費納付金.....3億416万7千500円 (北海道へ納める額)
- 〔内訳〕
- ・国民健康保険税.....2億992万2千200円
- ・国、道からの交付金等.....424万5千300円

国保事業費納付金とは？
国民健康保険加入者の所得や医療費水準により市町村ごとに割り当てられます。各市町村で金額は異なり、所得や医療費が高い市町村は納付金の割り当てが多くなり、逆に低い市町村は納付金の割り当てが少なくなります。この納付金の割り当て額と、国・道からの交付金等により、国民健康保険税額が決定します。

平成30年度以降の保険税について

▽平成30年度以降の保険税の決め方
北海道から示される納付金を集めるために必要な標準保険税率を参考に決定する予定です。
平成30年度は、2億992万2千200円が保険税として集めなければならぬ額となっており、平成29年度収入見込み額2億8719万3千円と比較し、1202万9千円増額になる見込みです。

住民課国民健康保険担当
☎221-8128

国民年金

国民年金の 手続きを忘れずに

その1/1

退職などをしたときは 届け出が必要で、左の表のようなときは、国民年金の手続きが必要となり、住民課または年金事務所へ届け出が必要になります。手続きをしないと将来受け取れる年金額が少なくなったり、年金を受け取れなくなったりすることがありますので、ご注意ください。

年金の届け出がマイナンバーで できるようになります

平成30年3月5日、マイナンバーによる年金の届け出が開始されました。届け出をするときには、印鑑やマイナンバーを確認できるもの(通知カード、マイナンバーカードなど)、本人確認書類(運転免許証など、写真付きのものがない場合は保証書や年金手帳などを2点)、表に書かれた必要なものをお持ちになり手続きをしてください。

こんなとき	必要な手続き	必要なもの
20歳になったとき(厚生年金加入者以外の人)	国民年金への加入手続きをする	退職日がわかるもの(離職票など)
勤め先を退職したとき(60歳未満の人)	第1号被保険者への種別変更手続きをする	配偶者の退職日がわかるもの(離職票など)
配偶者の扶養から外れたとき	任意加入の手続きをする	通帳、通帳の届出印
60歳を超えたが、受給資格が足りないときや年金額を満額に近づけたいとき	国民年金保険料を納めるのが難しいとき	失業したときはその証明(離職票)

なお、基礎年金番号による届け出も引き続き行うことができますので、届出書にはマイナンバーまたは基礎年金番号のどちらかを記載することになります。

詳しくは 住民課戸籍年金担当へ
☎221-8128
日本年金機構のホームページは <http://www.nenkin.go.jp/>

NAME NAKA

ほんべつ 豆まかナイト 2018

今年で4回目を迎える「ほんべつ豆まかナイト2018」(町商工会主催)が1月27日、町体育館を会場にして開催され、約800人が来場しました。本別町の特産品である「豆」をテーマに、商工会青年部(池田圭吾部長)が中心となり、節分を盛り上げる豆まきイベント。約2トンの本別町産大豆を使い、日本一の豆のまちを発信する魅力あふれる多彩な催しが展開されました。



イベントの成功を！豆祈禱

初登場の豆スライダ。子供たちに大人気
豆マルシェでは工夫を凝らした多彩な料理を提供
ひきたて、つきたてのきな粉餅を提供。石臼体験も
会場入口に大豆ニオ積みを設置。子供たちが種まきや収穫した様子を写真で紹介



主催者あいさつでは岡崎勉商工会会長が今年も仮装で登場



大豆のお風呂、豆風呂はいつも満員。「気持ちよくて、楽しいよ～」
わんこ黒豆うどん選手権には20人が挑戦。2分間で71杯の大食漢も
豆浴び！が2年ぶりに復活。10組が祈願しました

豆のまちを熱くする若者たち！



このイベントを主管する商工会青年部に加え、JA本別町青年部は「まく豆作ろうぜプロジェクト」で子供たちへの食育など全面バックアップ。また、役場やJAの若手職員が、当日のイベント運営に協力。本別の次世代を支える若者たちが一致団結して、豆のまちを盛り上げています！

飛び交う2トンの大豆、多彩な豆の催し

今年の豆まかナイトで使用された大豆は、これまで最多の2ト。まく豆作ろうぜプロジェクトとして町内の小中学生も参加し、仙美里地区の「鬼退治専用大豆育成地」で育てられた大豆も含まれています。
午後4時の開豆(オープニング)では、義経太鼓の演奏の後、イベント成功を祈り豆祈禱が行われました。会場には、豆と一緒にすりおろした豆スライダや、大豆いっぱい豆風呂コーナーが設置され、子供たちが殺到する人気ぶり。豆マルシェでは特産の豆を使ったカレーやピザなどの料理、スイーツなどが提供されました。またステーションイベントでは、わんこ黒豆うどん選手権や2年ぶりに復活した祈願豆浴びなどのコーナーも人気を呼びました。
メインの激！豆まき！では、個性豊かな8組の鬼が次々とステージに登場。ゴーグルを装着した参加者が、1袋に2〜3kg入った大豆を力いっぱい投げつけ、会場は熱気に包まれました。最後には、温泉宿泊券などが当たる抽選券付きの餅まきが行われ、家族連れなど町内外から訪れた多くの参加者は多彩な豆の催しを楽しみました。



道の駅「ステラ★ほんべつ」 冬あかり



冬でも手軽な運動としてスクワットを推奨



約100人の参加者が地域包括ケアの取り組みを確認



国保病院ワーキングチームが改革プランを報告

本別町地域包括ケア報告会（町主催）が1月27日、中央公民館と町体育館で開かれ、約1000人が参加しました。

大豆は とつても大事

町では、いつまでも住み続けられるまちづくりの地域包括ケアシステム構築に向け、地域包括ケア研究所（鎌田実所長）の協力により1年間さまざまな事業を展開。この報告会は、本別ならではの地域包括ケア構築の進捗状況と、これからの取り組みについて住民が考え、共有することを目的に開催されました。

前段にスライドで1年間の取り組みの様子を振り返り、総合ケアセンターの飯山明美所長は、「地域包括ケアシステムはどの町でも求められているが、医療・福祉の専門家に任せるのではなく、町民の皆さんがこの町に暮らす中で何が必要か、一緒に考え企画する、その仕組みをどのようにつくるかを考えてきました」と述べました。

第1部は中央公民館を会場に、長野県諏訪中央病院の名誉院長でもある鎌田所長が町内各地域で講演などを行った健康づくり事業や、全国から医療系学生や従事者が本別町に集った人材確保事業について紹介。また、国保病院が昨年の3月からワーキングチームを結成して病院全体として新公立病院改革プランを策定した取り組みについて報告がありました。

第2部は、町体育館で同日に開催された豆まかナイトのステージに会場を移し、鎌田所長が「豆と健康」をテーマに講話。長野県では温野菜などで野菜を多く摂取することを推奨しており、がんや脳卒中、心筋梗塞などが少ない現状を紹介しました。また、本別町の冬期間の運動として、若返りホルモンの分泌を増やすスクワットを推奨。「野筋」することで、認知症や脳卒中予防などさまざまな効果があることを語りました。

本別町地域包括ケア報告会



①子どもの部の雪中宝さがし
②多目的ホールに設けられた飲食コーナー。来場者がほっと一息つきました

約4000個のキャンドルが 幻想的な一夜を演出

第2回道の駅「ステラ★ほんべつ」冬あかり（実行委員会主催）柏崎秀行実行委員長が2月3日、同道の駅周辺で開かれ、約4000個のアイスクャンドルが本別の冬の市街地を彩りました。

午後4時に行われた点灯式では、柏崎実行委員長が挨拶を述べた後、本別中学校の代表生徒3人や高橋正夫町長などがさつき氷の中の水の中を点火。ポランティアスタッフがロータリー周辺に並べられた、たくさんアイスクャンドルに次々と火を灯しました。

1月中旬から本別建築士会（永井米男会長）が道の駅東側の広場に設置した大型滑り台では、冬あかり当日、実行委員会が滑り台の斜面にカラフルなイラストや光を投影。子供たちが幻想的な雰囲気の中で何度もチューブ滑りを楽しんで歓声を上げたほか、子ども部、大人の部に分かれた雪中宝探しイベントを盛り上げました。さらに、多目的ホールでは、お汁粉や豚汁などの温かい食べ物、飲み物も販売され、来場者は、冷えた体を温めながら、キャンドルが輝く一夜を満喫しました。



③かわいらしい模様が写し出された大型滑り台 ④本別中学校生徒制作のキャンドル ⑤元氣くんキャンドルも登場

各学校の手作りページ

HELLO 本別中学校

校訓 真 剣

教育
目標

力行 力いっばい学ぶ生徒
方正 真面目に考え行動する生徒
錬磨 身も心も鍛える生徒

「ほんべつ学びの日」～4つの風の中で～
学 校 づ く り



全校合唱の
迫力だ!



2年生の息の合ったパフォーマンス

文化祭

本別中学校(池浦暢校長・
全校生徒129人)の今年度
後半の活動から「自ら創造す
る行事」と「多くの出会い」
について活動の様子をご紹介します。
今日も本中生は明る
く礼儀正しく真剣です。



本中強歩

伝統の本中強歩は10月に足
寄コースで実施。町体協の皆
さんには給水や交通整理等た
いへんお世話になりました。



北海道日本ハムファイターズ応援大使



地域医療を担う青少年育成事業

出会い

今年度後半は特に多くの人々との出会いがあり
ました。北海道日本ハムファイターズ本別町応援
大使の有原航平、大栗進両選手の訪問や、地域医
療を担う青少年育成事業では若い医師が先輩とし
て自らの思いを語ってくれました。2月には鎌田
実先生が来校されまし
た。



フラワーロード整備



交通安全街頭キャンペーン



アイスキャンドル点灯

ボランティア
各種活動にも熱
心に取り組みまし
た。

消防団員募集

自分たちの町は自分たちの手で!

本別消防団は、平成29年に100周年という節目を迎えました。
多くの先人が築いた歴史を、これからも受け継ぎ本別町の防災、減災に
努めていきます。

その担い手の一人として、我が本別消防団は新たな仲間を募集します。
共に、本別町の安心・安全を守りませんか?



昭和42年頃 現 道の駅ステラ★ほんべつ前



昭和45年頃 現 JJA本別西側駐車場



昭和51年 本別川河川敷



昭和52年 現 銀河通り

本別消防 一斉放水の変遷



平成3年 本別警察署前



平成27年 利別川河川敷

- 募集人員** 若干名
- 応募資格** 本別町内に居住または勤務する満18歳以上の健康な人で、消防防災活動・ボランティア活動に興味のある人
- 活動内容** 火災等災害出動・定期訓練・火災予防運動 等
- 処遇等** 各種出動手当・公務災害補償・制服等被服貸与 等
- 応募方法** 消防団入団希望の人は、お近くの消防団員または本別消防署にご連絡ください
- 問い合わせ** 本別消防署消防課消防係 ☎22-2007

本別スケート選手権大会 44人、全力でゴールへ 2 12

第55回本別町スピードスケート選手権大会（本別スケート協会主催）が2月12日、町民スケートリンクで開かれました。大会には、本別・勇足スケート少年団の団員や、小中高校生、幼児の43人と、美里別出身のスピードスケート選手 大和田真さんが出場。100mから3000mの6種目が行われ、大和田さんが、一般男子の部500mで圧倒的なスピードの滑りを披露したほか、選手らはシーズン最後の大会として、自己記録の更新や各部門の優勝を目標に、全力でゴールを目指しました。



オリンピック選手、高木姉妹を指導して 2 2

本別町体育協会技術講習会兼本別町少年団本部指導者・母集団研修会が2月2日、町体育館で開かれ、元帯広南商業高校スケート部監督の東出俊一氏が講演を行いました。東出氏は「子供たちのやる気を引き出す方法～オリンピック選手、高木姉妹を指導して」と題し、やる気を高める指導として、目標の明確化や自己肯定感などのキーワードを示し、「どのレベルの選手でも理論から伝える」など、指導のポイントを伝授。「子どもの素質を分かる人は誰もいない。あきらめず、本人がやりたいと思うスポーツはやらせてあげるべき」と経験を踏まえて思いを語りました。来場した指導者や保護者など約50人は、オリンピック選手を育てた指導方法にうなずき耳を傾けました。



技掛け合い、優勝目指す 1 28

本別町鏡開き少年柔道大会（本別柔道連盟主催）が1月28日、町柔剣道場で開催されました。大会には、本別柔道少年団員の小学生10人が出場。3部門に分かれた個人戦と紅白チームに分かれた団体戦が行われ、選手たちは、日ごろの練習の成果を発揮しながら、優勝目指して技を仕掛け合う白熱した試合を展開しました。



郵便局と地域の見守りなどを連携 1 16

町内4郵便局と本別町による「包括的連携に関する協定」締結式が1月16日、役場で行われました。この協定は、住民サービスの向上等を目的として、高齢者等の見守りや、安心・安全な暮らしの実現に関することなどについて定めたもの。本別郵便局の田中浩局長は、「地域の郵便局として、地域に必要とされ、喜ばれる活動を積極的に行いたい」と語り、高橋正夫町長は、「町民の暮らしに根付いている郵便局との協定は、まちづくりの支えとなる」と感謝の気持ちを述べました。



アイヌ文化を楽しく身近に 2 10・13

資料館企画展に合わせた「アイヌ文様の手仕事講座」が2月10日、図書館で行われました。「木ぼりのコースターを作ろう」には小学生など11人、大人向けの「刺しゅうのミニタペストリーづくり」には17人が参加。本別町出身で、現在は釧路市阿寒湖温泉に在住しアイヌ文化活動アドバイザーを務める澤井和彦さんや山本榮子さんから指導を受けました。講話では、文様に込められたアイヌ民族の思いや、本町出身で全国的に活躍した歌手のことなど、さまざまな話題に及び、講座の最後には民族楽器「ムックリ」が演奏され、参加者は楽しみながらアイヌ文様の奥深さに触れました。



本別中央小学校の1年生43人が2月13日、アイヌ文化への理解を深めるため、古式舞踊などの体験学習を行いました。帯広カムイトウボボ保存会の会員4人が同校を訪れ、「バッタキウボボ」（バッタの異常発生という事象を後世に伝えるための踊り）を披露。その後、児童らはバッタをまねた動きと手拍子がリズムカルに繰り返される素朴な振り付けを習い、輪になって踊りました。この他2曲を体験した後、アイヌ童謡「ピリカピリカのうた」も全員で歌いました。同校では3年生と4年生も、同日それぞれ古式舞踊の指導を受け、児童らにとって十勝アイヌの人びとの文化を知る楽しい学びとなりました。



福祉施設で避難所運営図上訓練を実施 1 31

アメニティ本別（加藤徹己施設長）で1月31日、同施設で初めての福祉避難所運営図上訓練が行われました。町では、主に医療や介助などが必要な人を受け入れる福祉避難所を町内に13か所指定しており、同施設とは平成24年度に「災害発生時における福祉避難所の設置運営に関する協定」を締結しています。今回は、避難所運営ゲーム（HUG）を活用して、福祉避難所で起こりうるさまざまな状況の理解と適切な対応を目的に訓練を実施。停電への対応や避難所内の区割りなど多くの課題が挙げられ、職員らは大災害に備え、意識を新たにしました。



ジュニアプラスアンサンブルが全道大会を報告 1 17

北海道小学校スクールバンド連盟十勝支部から推薦され1月14日に函館市で開催された2018年全国小学校管楽器合奏フェスティバル北海道大会および第34回全道小学校スクールバンドフェスティバル函館大会に出場した本別ジュニアプラスアンサンブル（山田純団長）が1月17日、教育委員会を訪れ中野博文教育長に報告しました。山田団長らは「本番は緊張したけれど、上手に演奏することができました」など大舞台での演奏を経験できた喜びを語りました。



未来に輝く子どもたち

本別町の未来を担うかわいい星たちです。お父さん、お母さんのたぐさんの愛に包まれてすくすく元気に育ってね！



柏木町
富川 澄 (真理ママ)



勇足東4
大島 義 (かおりママ)

※写真は本人に了解を得た上で掲載しております

みんなの健康

403

今年もまたではインフルエンザが流行しております。誰もがインフルエンザにはかかりたくありません。今、自分がインフルエンザにかかりやすい状態にあるのかチェックしてみてください。

インフルエンザ 感染について

- ・睡眠不足が続いている
- ・入浴後の手洗いをしていない
- ・外出後の手洗いをしていない
- ・これらの項目が多いほど、インフルエンザにかかりやすい状態です。
- ・インフルエンザから体を守るためには、
- ・規則正しい生活
- ・十分な睡眠やバランスのとれた食生活
- ・人混みへの外出を控える
- ・外出後念入りの手洗い



本別町国民健康保険病院
総看護師長
歌住 桂子

患者さんへの面会制限を行うなど、病院内や病室内でのインフルエンザウィルスの拡散防止・蔓延予防に取り組んでおります。

一人ひとりが感染予防と蔓延防止の正しい知識をもつてインフルエンザの流行を切りましょう。

・部屋の湿度を50〜60%に加湿などの対策が挙げられます。

また、ワクチン接種も予防に一定の効果があるとされており、インフルエンザを発症したとしても重症化せず、軽い症状で済む場合も多いようです。

ただこの場合、軽症で済む反面インフルエンザに感染してウイルスに気がつかないまま、ウィルスをあちこちに広めている可能性があります。

高齢者や疾患のため免疫力や抵抗力が低下している人の場合、感染すると肺炎を伴うなど重症化することから、当院では、熱外来の開設や、入院

チャレンジタイム

挑戦の大切さを児童へ

2 | 15

中学校入学を控える小学生向けのキャリア教育が2月15日、町内3小学校で行われ、本別高校3年の富田綾盛さんと荒井香里さんが児童へそれぞれの経験などを講話しました。



これは中学・高校生活を知り、進路選択の幅を広げてもらおうと教育委員会から本別高校へ依頼して実施されたもので、本別中央小は6年生が、勇足・仙美里小は5・6年生が受講。2人は、自身の小・中学校時代の様子等を紹介した上で、夢に向かって挑戦することの大切さや勉強の重要性などをやさしく語り掛け、児童らは自分の将来のイメージを膨らませながら真剣な表情で聴き入りました。

情報を広報電算担当へお寄せください ☎22-8121

ご寄付ありがとうございます

平成30年1月16日から2月15日

次の通りご寄付をいただきました。
紙上を借りて厚くお礼申し上げます。(敬称略)

★老人ホーム指定
ポータブルトイレ 1台 ……北6丁目 松本俊郎
個性あるふるさとづくり寄付条例による寄付
計 金 2,230,000円 …… 155人

銀河ホップアップ

足寄町

第43回

足寄町消費生活展

足寄町の農畜産物や町民から集められたリサイクル品などが出品される他、足寄餅つき隊によるお餅の無料配布も行われます。ぜひ、ご来場ください。

日時 3月25日(日)
午前10時～午前11時30分

- 場所 足寄町民センター
□内容
・農畜産物消費拡大コーナー
・郷土物産展示即売コーナー
・包丁研ぎ奉仕コーナー
・旭町ふれのいーろー陶芸クラブコーナー
・生ごみ堆肥無料配布コーナー 他

□問い合わせ 足寄町役場住民課民生生活担当
☎2512141 内線2225

陸別町

銀河の森天文台から プラネタリウム新番組 「宇宙の大きさ」

感じてみよう

銀河の森天文台では、2月からプラネタリウム新番組「宇宙の大きさ」を感じてみよう」を上映中です。宇宙の大きさについて学習してみませんか？

上映日 開館日の土曜日・日曜日・祝日のみ上映

- ※閉館日は毎週月曜日・火曜日
□上映時間
1回目…午後3時
2回目…午後5時
3回目…午後8時
※1回30分程度

□入館料
《昼間》 大人 300円
小・中学生 200円
《夜間》 大人 500円
小・中学生 300円
※小学生未満 無料

□問い合わせ 銀河の森天文台
☎2718100

本のある暮らし

204

みんなで読書しない？

～本読みファミリー2017～

戸籍のまど

お誕生

1月後半から
2月前半の
届出分

- 吉田 遥 稀^{はるき} 祥太朗^{しょうたろう} 沙有理^{さあり} 1/12 勇足元町
- 佐々木 朝陽^{あさひ} 俊次^{しゅんじ} 美加子^{みかこ} 1/23 南1丁目
- 竹村 依千花^{いぢか} 修司^{しゅうじ} みすず^{みすず} 1/26 南2丁目
- 山下 珠 璃^{しゅり} 健司^{けんじ} 智美^{ちみ} 2/6 勇足東4

おくやみ

- 高橋 ヒロエ^{ひろえ} 92歳 1/12 仙美里元町
- 仁王頭 より子^{よりこ} 101歳 1/21 新 生
- 岩淵 シズコ^{しずこ} 90歳 1/22 北3丁目
- 宮崎 敬次郎^{けいじろう} 92歳 1/22 向陽町
- 植田 ラク^{らく} 100歳 1/26 北1丁目
- 前田 ヒサ^{ひさ} 86歳 1/27 美蘭別
- 大沼 清^{しみず} 85歳 1/29 東 町
- 島 千代子^{ちよこ} 84歳 2/1 新 町
- 永森 重一^{しげいち} 91歳 2/4 負籠 1
- 小澤 實^{みさ} 76歳 2/7 北3丁目
- 和田 利一^{りいち} 50歳 2/9 共 栄
- 齋藤 友能^{とものり} 99歳 2/12 緑 町
- 村田 千恵子^{ちえこ} 61歳 2/13 北1丁目

“読書は大切”と言われますが、本別の人はどれくらい読んでいるのでしょうか？「本をたくさん借りた人・年間ランキング」を調べると、個人のベストテンに家族でランクインしている人が4人います。そこで、本好き一家が読書をどのように楽しんでいるのか、聞かせてもらいました。

※平成29年（1月～12月）図書館システム利用統計による



佐藤さんファミリー（錦町）

5位 雅孝^{まさたか}さん（7歳）274冊 6位 真菜^{まな}さん（9歳）260冊



一家でなんと873冊！

両親を含めた家族全員で利用しています。雅孝さんは物語「こうえんのシロ」シリーズが大好き。自分で読むほか、弟さんと一緒にお母さんから絵本を読んでもらうことも。真菜さんは「自分がこんなに読んでいるとは思わなかった！本は面白いから何でも好き」と話してくれました。



関根さんファミリー（北6丁目）

9位 隆太^{たかた}さん（5歳）223冊 10位 真希^{まき}さん（30代）222冊



本読みタイムこれからも

隆太さんは絵本、お姉さんはマンガや物語、真希さんは小説や実用書と、家族それぞれの好みがあります。「テレビの時間を決め、あとは読書が日課です。読み過ぎ？というくらい」と笑う、小さい頃から本好きな真希さん。子どもの成長とともに、読書タイムも変化しているそうです。

読書は個人の楽しみですが、誰かと共有する楽しさもあります。親子、きょうだい、友達などで、本を通じたコミュニケーション…世界が広がるかもしれませんよ。

お問い合わせ先

本別町図書館

（愛称：ぶつくる一丸）

本別町北2丁目 ☎・FAX 22-5112

わたしたちのまち

前月比

人口 7,240人(-13)

男 3,556人(-5)

女 3,684人(-8)

世帯数 3,700戸(-6)

〔1月末日住民基本台帳〕

